

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
平成27年度 第4回 医学教育FD／ICT活用研究委員会 議事録

I. 日 時：平成28年3月14日（月） 17：30～19：30  
場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

II. 出席者：内山委員長、建部委員、福島委員、高松委員、藤倉委員、渡辺委員  
(事務局 井端事務局長、平田職員、竹苗職員)

### III. 検討事項

今回は、国際的に通用するカリキュラムを目指したICT活用による教育方法について研究するため、ICTを活用したアクティブ・ラーニングのアンケート結果を整理し、参考となる実践例の選定など結果報告のまとめ方を以下のとおり検討した。

#### 1. ICTを活用したアクティブ・ラーニングのアンケート結果

アンケートは、国公立大学の「医学教育ユニットの会」の代表者宛に、平成28年2月3日に80医学部中75医学部（94%）にメールで送付した。その結果、27医学部から回答があり（回答率:36%）、事例紹介は48件寄せられた。

回答内容は、「(1) ICTを活用したアクティブ・ラーニングの目的」は知識・技能の定着、「(2) 紹介された授業事例の教育対象学年」は3・4年次の臨床医学、「(3) ICTを活用したアクティブ・ラーニングの手法」は予習復習支援、「(4) アクティブ・ラーニングの実施規模」は授業コマ単位、「(5) 教育効果の評価」は主観的指標による評価が多い傾向で、知識の定着のレベルにとどまっており、組織的な規模まで展開されていないことが確認された。

また、実践事例については、PBL、TBL、チュートリアル、遠隔教育でのLMS、eポートフォリオ、多機能端末の導入など参考となる事例も一部あったが、他分野にも参考となる先進的かつ斬新な事例がなく、医学教育でのICT活用やアクティブ・ラーニングがあまり進んでいないことが確認された。そのため、今後、本委員会でICTを活用したアクティブ・ラーニングを活発化させるための課題や対応策をとりまとめ、問題提起していく必要性を認識した。

#### 2. 医学教育におけるICTを活用したアクティブ・ラーニングの課題

アンケート結果を受けて、医学教育におけるICTを活用したアクティブ・ラーニングが進まない原因や課題について意見交換したところ、主に以下の意見があった。

- ① 医学教育では、伝統的な基礎医学講義・実習、臨床系統講義が多いため、自己学習時間を確保し、学生に考えさせるためのアクティブ・ラーニングを導入する時間がとりにくい。
- ② 医学部では未だ、講座（授業科目）が学修方法を決めているため、新しい学修方法を医学部全体として組織的に取り入れ、学修環境を構築することができていない。
- ③ 卒業時のアウトカムが十分に整備されていないため、臨床推論など知識を活用する教育や生涯学習に対応したカリキュラムが不足している。
- ④ 多様な患者に接するために本来は学外の病院など遠隔地で臨床実習を行う必要があるが、

現状では大半が大学附属病院中心に行われているため、ICT の学修環境の必要性を学生が感じておらず、支援環境の整備が遅れている。

### 3. アンケート実施結果の報告

平成 27 年度の本委員会活動報告として、アンケート実施結果を平成 28 年 3 月 25 日の臨時総会で紹介したい旨、事務局より説明があり、以下の手順で出席委員が分担してとりまとめることにした。

- ① アンケート送付・回収等は文章化する。
- ② 上記（１）～（５）の選択項目に対する回答結果はグラフ化する。
- ③ 実践事例は、参考となる 2～3 例を各委員が選定する。
- ④ 最後に「医学教育分野での課題と展望のまとめ」として、アンケート結果や委員会での意見交換を踏まえて課題等を整理しまとめる。
- ⑤ 総会での報告は本委員会委員が行う。

### 4. 来年度の課題とスケジュール

平成 28 年度は 4 月に委員会を開催し、医学教育における ICT を活用したアクティブ・ラーニングに関する課題や対応策について、今回のアンケート結果を踏まえてとりまとめる。その後、医学・歯学・栄養学・薬学・看護学の分野連携によるアクティブ・ラーニング対話集会を秋に開催するため、合同委員会を 5 月・6 月頃から開催したい旨、事務局より説明があった。

### 5. その他

次回委員会は 4 月 27 日（水）17：30 より開催することにした。

以上